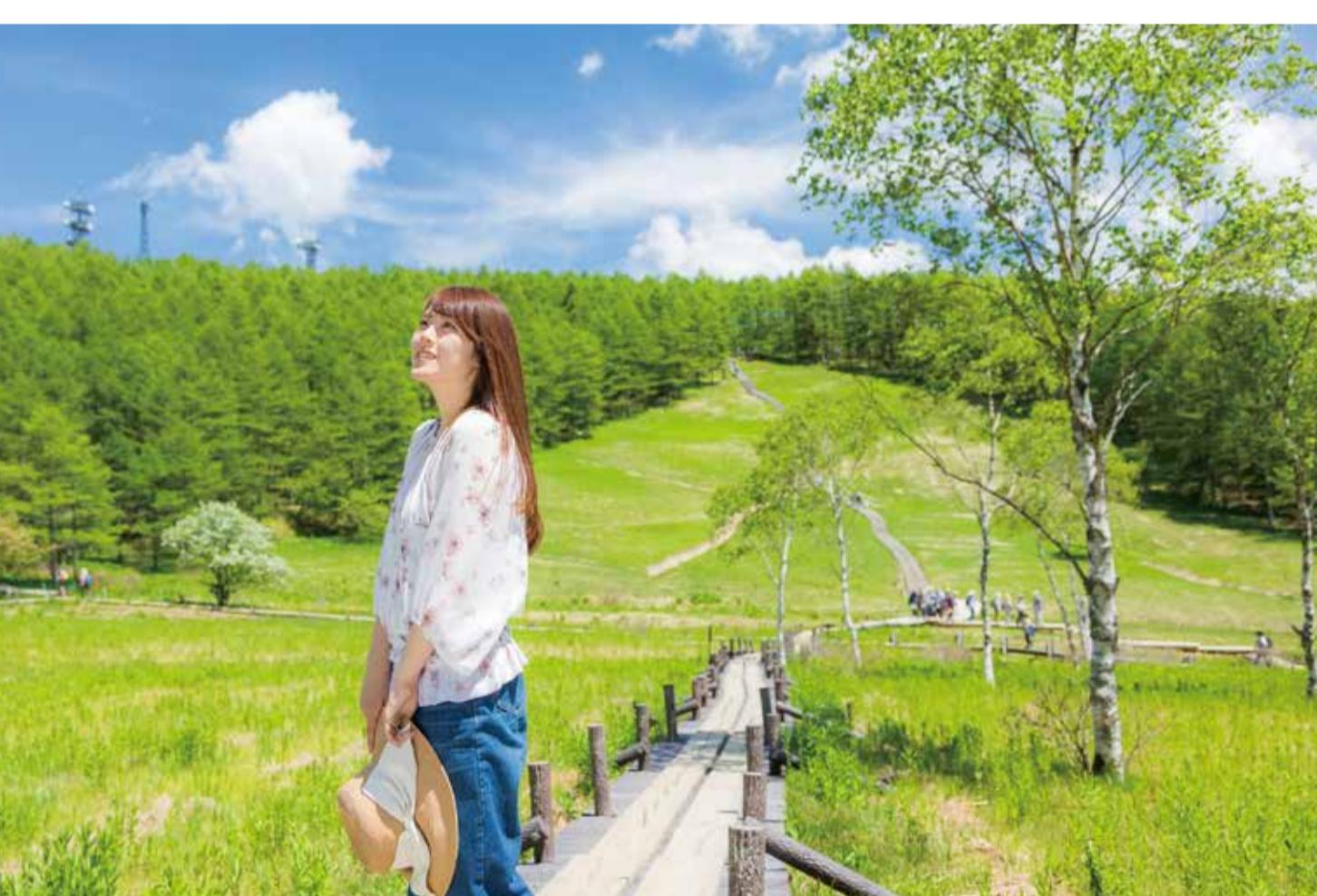
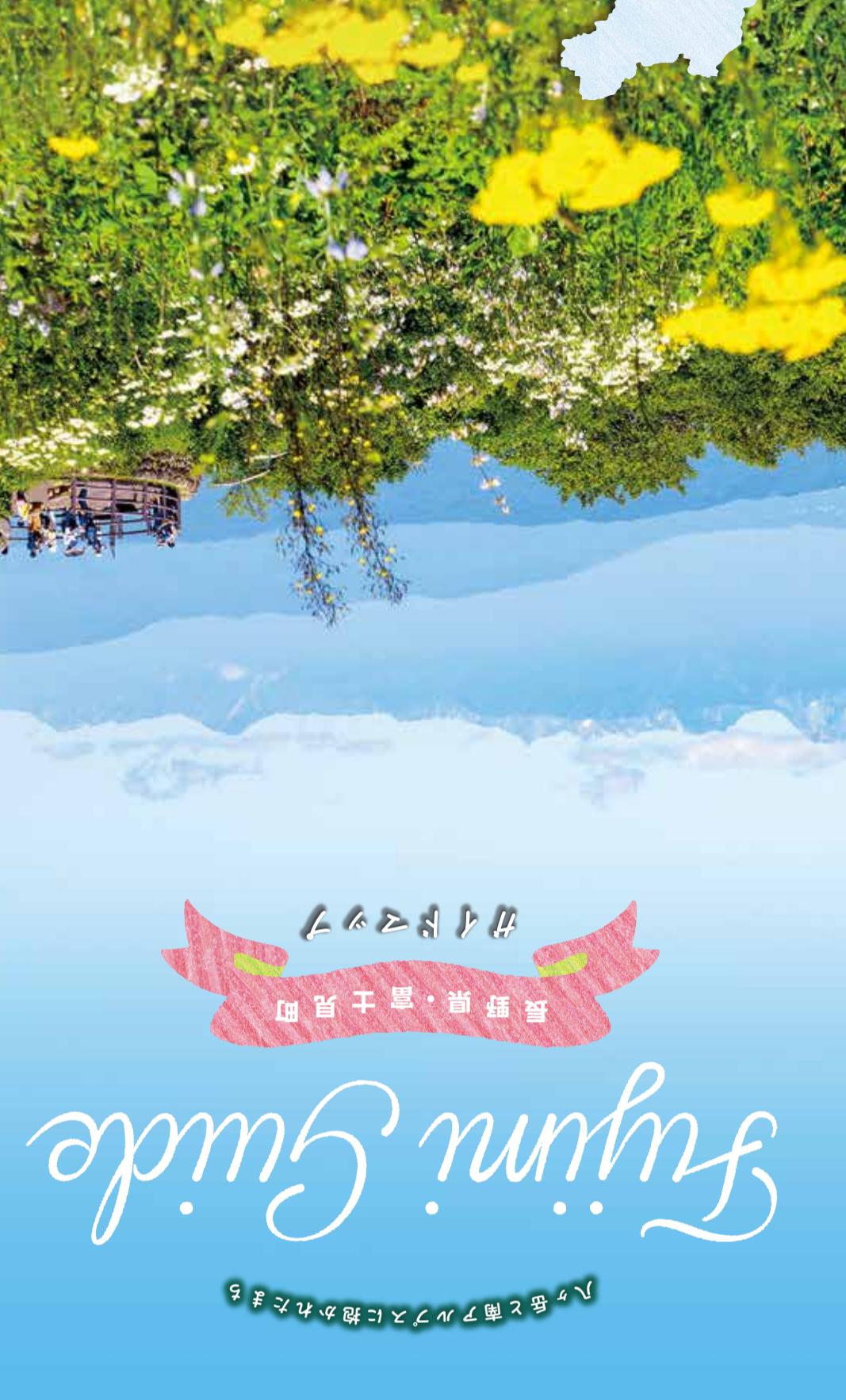




富士見町
花のまち



富士見

思い切り深呼吸したくなる爽やかな空気、蒼く澄んだ空。タケ岳最南端の標高、南アルプス最北端の入笠山といふふたつの山のふとろぎに抱かれ、富士見は、都心から離れた数時間といるのが信じられないほど豊かな自然と静けさに満ちている。

然と静けさに満ちている。

標高1,000m-1,100mの山々が、春や秋の季節には、山全体が緑色で覆われる。また、山の麓には、木々がメタセコイアやヒマラヤスギなどアカマツなどで、冬になると雪景色となる。

移りゆく季節の中、ゆっくりと時間が流れまる。また、春や秋の季節では、人々とのふれあい、高原の生活では、暖かい水とよく溶け合ったお風呂や温泉で、人々が楽しむ。また、夏の季節では、山の麓の木々がメタセコイアやヒマラヤスギなどアカマツなどで、冬になると雪景色となる。

山の麓の木々がメタセコイアやヒマラヤスギなどアカマツなどで、冬になると雪景色となる。

山の麓の木々がメタセコイアやヒマラヤスギなどアカマツなどで、冬になると雪景色となる。

山の麓の木々がメタセコイアやヒマラヤスギなどアカマツなどで、冬になると雪景色となる。

